

# は 建設防広島

発行所 ☎730-0012  
 広島市中区上八丁堀8番10号  
 建設業労働災害防止協会広島県支部  
 発行人 島原真登  
 TEL(082)228-8250  
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号  
 中外印刷株式会社  
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 1月号

## 新年のご挨拶

建設業労働災害防止協会広島県支部

支部長 伏見 暁



新年明けましておめでとうございます。

平成24年の新春を迎え、会員の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。

昨年は3月11日に東日本大震災が発生し、その後も台風や集中豪雨による自然災害が多発いたしました。そのため広域での災害の復旧・復興工事における労働災害防止が問われました。

本年も、会員の皆様には、労働災害防止に「安全最優先」を堅持されることをより強くお願い申し上げます。

昨年の県内死亡災害は6名(11月末)と、前年同期と同数となっておりますし、災害の型別状況につきましては、重点とされる三大災害・交通災害が発生しております。我々の念願であります「死亡災害ゼロ」をめざし、再度、原点に返り一層の努力が必要であると考えます。

当協会といたしましては、三大災害「墜落・転落災害」「クレーン等建設機械災害」「崩壊・倒壊災害」、並びに「交通労働災害」等在来型災害の絶滅に向けて、「リスクアセス

メント」のより定着、「建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)」の推進により努めてまいります。

また、一昨年の方改正により実施しております「丸のご等取扱い従事者教育」、平成21年の法改正を踏まえた「足場の組立て等作業主任者能力向上教育」「施行管理者等のための足場点検実務者研修」、加えて、各種「リスクアセスメント研修」「建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育」等を勧めまいります。

平成24年の干支は「辰」です。「人の心の中に人格という竜がいる。経験を食べて成長し、日増しに強くなっていく。どうか自分の竜を大きく育ててください。」これは昨年、来日されたブータン国王が福島の前被災地で子供達に語りかけられたお言葉だそうです。我々も厭わず弛まず努力し経験を積み重ね、安全と言う意識の竜を、各々大きものにしたいと考えます。

終わりにになりましたが、会員の皆様に取りまして、本年が素晴らしい年となりますよう、心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

### 謹 賀 新 年

建設業労働災害防止協会広島県支部

専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	支 部 長	専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長	副専務局長								
大 堀	前 田	川 本	末 石	熊 本	作 田	三 鼓	福 江	保 道	柿 原	岡 田	湯 浅	三 木	信 濃	上 木	檜 山	北 浦	土 井	島 原	熊 本	岡 田	檜 山	伏 見	
ヒロコ	定 寛	訓 則	孝 二	純 司	勝 枝	理 美	慶 恵	佳 代	吉 弘	源 之	能 章	愛 子	秀 也	典 英	ゆかり	幸 子	眞 登	孝 司	吉 弘	典 英	暁		

# 新年のご挨拶

広島労働局長 **勝田 智明**



新年を迎え、建設業労働災害防止協会広島県支部会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より労働行政の推進、とりわけ建設業における労働災害の防止にご尽力、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

広島県の雇用情勢は、持ち直しの動きが回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況にあります。そうした中で建設業の新規求人数は対前年比（10月末）で23.3%と全産業平均の5.5%を大きく上回っており雇用を支える重要な産業といえます。

しかしながら、建設業界も、公共事業の大幅な減少に加え、このところの円高による製造業等の設備投資の冷え込み等により一段と厳しい状況の中で事業運営に努めておられることと存じます。

このような状況の中、広島県内の建設業の労働災害発生状況は、長期的には大幅に減少していますが、平成23年（10月末現在）は、277人と前年同期に比べ18人増加しており、死

亡災害も11月末で6人と前年同期の死亡災害件数と同数になっているという憂慮すべき事態になりました。

また、死亡災害の内容をみても、ドラグ・ショベルの用途外使用による災害、高所からの墜落災害、重機の転倒による災害、スレート板の踏み抜きによる墜落災害、タイヤローラーに轢かれた災害と、安全管理が十分に行われていなかったのではないかとと思われる災害が発生しました。

当局では、リスクアセスメントを導入していただくことが、効果的な災害防止対策の手法であると考え、昨年より建設業のリスクアセスメントの導入を展開しています。建設業においては、危険予知活動等現場における安全活動は活発に実施されていますが、リスクアセスメントが導入されているところはまだ少ない状況です。現在建設現場で行われている危険予知活動等の安全活動はすでに作成された建設工事計画の中で危険箇所や危険作業等を確認し労働者に安全に作業させようというものです。一方、リスクアセスメントは建

## 目次

新年のご挨拶	安全衛生セミナー（専門工事業者安全活動自律促進事業） 平成23年度建設業労働災害防止協会広島県支部
建設業労働災害防止協会広島県支部長 伏見 暁 ... 1	安全衛生表彰式開催のご案内 ..... 6
新年のご挨拶 広島労働局長 勝田智明 ... 2	労働災害発生状況 ..... 6
年末パトロール ..... 4	災害事例 ..... 7
	講習・行事コーナー （平成24年1月～平成24年3月分） ..... 8

設工事計画や作業標準等の作成段階で安全設備、安全対策を講じていこうとするものです。昨年の死亡災害をみましても、工事計画段階でのリスクアセスメントを実施していれば防止できたものと考えます。

また、平成24年度は、広島第11次労働災害防止推進計画の最終年度であることから、死亡災害、死傷病災害のさらなる減少に向けて、法令遵守をはじめとした取組みの強化を図っていくこととします。

さらに、労働者の健康確保対策については、2つの重点で取り組むこととしています。

第1の重点は、メンタルヘルス対策の推進です。自殺者が3万人を超える状況から国を挙げて自殺防止対策に取り組んでいますが、労働基準行政では、メンタルヘルス対策として業務が原因で心の病を発症することのない職場環境づくりを指導しています。具体的には、衛生委員会等の場でメンタルヘルス対策について調査審議事項とすること、管理者や労働者へのメンタルヘルス対策にかかる教育を実施すること、メンタルヘルス対策にかかる相談窓口を設置すること、心の健康づくりの計画を作成することです。しかしながら、メンタルヘルス対策推進計画で対象としている100人以上の労働者を使用する事業場においても衛生委員会においてメンタルヘルス対策について審議されている事業場は少ない状況です。建設業においては、当局管内で現場代理人がメンタル不調になる事案が過去に発生していることから、メンタルヘルス対策への取組みもお願いします。

第2の重点は、定期健康診断における有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせることを推進するための対策です。当局管内では、有所見率が50%を超えており全国平均も上回っていることから、特に血圧、血中脂質、血糖、腹囲の有所見について、改善をはかるために、労働者への健康教育の実施、有所見者や予備軍への特定保健指導の実施等を指導していくこととします。全国的には過重労働により脳疾患、心疾患が悪化する事案も発生していることから、有所見者の労働時間管理には特に留意していただくことが重要です。

さらに、今年は東日本大震災に伴う原発事故による汚染土壌などの除去作業が本格的に実施されますが、当該作業に従事する場合は、本年1月1日から「除染作業等に従事する労働者の放射線障害防止にかかる省令」が適用されますので、該当される事業場は当局健康安全課にお問い合わせください。

本年も建設業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況ですが、基幹産業としての建設業の役割は重要であり、そこで働く人の安全と健康を守ることは建設業の発展には欠くことのできないものです。皆様方には、心を新たに安全衛生活動に一層お取組みいただきますようお願いいたします。

建設業労働災害防止協会広島県支部並びに会員事業場の皆様のご発展と今年の建設業の災害ゼロを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。